

フランス革命と国民国家

1 / 1

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

今日の問い

フランス革命はどのように進み、国民意識はどのように広がったのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 啓蒙思想とフランス革命

革命と人権宣言

モンテスキュー

「法の精神」で三権分立を説いた思想家。

ルソー

「社会契約論」で人民主権を説いた思想家。

人権宣言

1789年、自由・平等や国民主権をうたった宣言。

18世紀のヨーロッパでは、イギリスのロックに続いて、人間の理性によって社会や政治のあり方を見直そうとする^{けいもうしそう}啓蒙思想が広まった。フランスの**モンテスキュー**は「法の精神」で三権分立を、**ルソー**は「社会契約論」で人民主権を説いた。

フランスでは、人口の大部分をしめる**平民**が重い税を負担し、聖職者と貴族は税を免除されていた。1789年、財政難に苦しむ国王に対して平民の代表が新しい議会をつくり、パリの民衆がバスチユ牢獄^{ろうごく}を襲撃して**フランス革命**が始まった。議会は、自由・平等や国民主権などをうたう**人権宣言**を発表した。

2 ナポレオンと国民国家

国民意識の広がり

ナポレオン

1804年に皇帝となり、ヨーロッパの大部分を支配した。

国民国家

国民が一つにまとまってつくる国家。

ビスマルク

1871年のドイツ統一を進めたプロイセンの首相。

革命では王政が廃止されて国王が処刑されたが、周りの国々との戦争が続き、その中で軍人の**ナポレオン**が権力をにぎった。ナポレオンは1804年に皇帝となり、法の下での平等などを定めた民法(**ナポレオン法典**)をつくって、ヨーロッパの大部分を支配した。支配された地域では、外国の支配に反発して**国民意識**が高まった。

19世紀には、国民が一つにまとまる**国民国家**をめざす動きが広がった。ドイツでは、プロイセンの首相**ビスマルク**が統一を進め、1871年に**ドイツ帝国**が成立した。アメリカでは、奴隷制などをめぐる北部と南部の対立から**南北戦争**が起こり、奴隷解放を宣言した大統領**リンカン**の指導で北部が勝った。

国	中心人物	できごと
フランス	ナポレオン	1804年に皇帝となる
ドイツ	ビスマルク	1871年にドイツ帝国が成立
アメリカ	リンカン	南北戦争(1861～65年)で北部を指導

問いへの答え

フランスでは、啓蒙思想が広まる中、平民だけが重い税を負う社会への不満から1789年にフランス革命が起こり、人権宣言で自由・平等や国民主権がうたわれた。その後、ナポレオンがヨーロッパの大部分を支配すると、各地で国民意識が高まった。19世紀には、ドイツの統一や南北戦争など、国民国家をめざす動きが広がった。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

